



いのちのたび



〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP <https://www.kmnh.jp/>
発行：いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

今年も残すところあと1か月となりました。12月は冬休みやクリスマスなどが楽しみですね。さて、博物館では12月26日から特別展「博物館のお正月 2024 ~辰~」を開催します。皆様のご来館をお待ちしています。

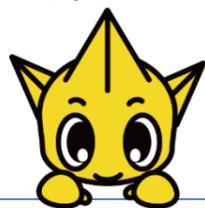
はくぶつかん しょうがつ たつ 博物館のお正月 2024 ~辰~



令和5年12月26日(火)~令和6年2月18日(日)

※12月29日(金)~1月1日(月・祝)は休館

令和6年の干支「辰」にちなみ、恐“竜”としてマジュンガサウルスや「リュウ」、「タツ」と名前をつくいきもの、龍や辰をモチーフにした絵画や歴史資料などを展示します。併せて縁起が良いとされるツルやカメなどの動物、またこれらが主題になった美術工芸品ほか、お正月に関する様々な資料を展示し、来館者の方々と新年を祝います。



明けましておめでとう
みんな、待ってるよ



マジュンガサウルス

入場料

常設展入場券で観覧できます。

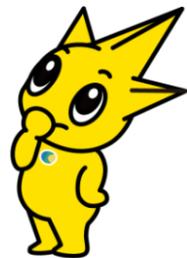
(大人600円、高大生360円、小中生240円)

※小中生は令和6年3月31日まで常設展が無料です。

歴史ゾーン ポケットミュージアムIIで
「米作りの一年」を展示しています。

明治時代から昭和初期ごろまでに使われた
稲作を中心とする農具を展示し、機械化され
る前の米作りについて、
四季を追って紹介して

います。
文化学習園の再現民家と
併せてごらんください。



先生、ちょっと聞いて!

ちょっと博物館受付中!

博物館の展示物を、先生の授業に活用しませんか。
オンラインで学校と博物館を繋いで、教科書の写真や
資料集代わりに、また、学芸員のワンポイント解説も
できます(要相談)。まずは、教育普及係までお電話を。
TEL 093-681-1011



ミュージアムのタネ

むかし あそ たの 昔からの遊びを楽しもう

片山正信さんは大正4年(1915)に若松市(現在の北九州市若松区)に生まれました。日本を代表する版画家である棟方志功の作風に惹かれ、版画家を志したそうです。『版画若松百景』『版画北九州めぐり』『大正走馬灯』などの地元のまちや人びとのくらしをテーマとした作品を多く発表しています。今回は『大正走馬灯』の作品を中心に、昔の遊びをご紹介します。

【きしゃぼっぱ】

長いロープを輪にして、その中に数人が列を作ります。一番前の人が運転手、一番後ろの人が車掌の役で、間の人はお客さんの役をします。この作品では、大きなお姉ちゃんたちが運転手や車掌の役をして、年下の子どもたちがお客さんの役をしています。年齢に関係なく、一緒に遊ぶことができます。



きしゃぼっぱ(『大正走馬灯』より)

【けんけんたび】

昔は表通りに面していない路地裏で遊ぶ子どもの姿をよく見かけました。道路に口ウ石と呼ばれる柔らかい石で丸を書き、その中に石を投げ、片足で跳びながら前へ進みます。最後まで進んだら折り返し、石を拾って戻る遊びです。石が入っている丸は踏むことができないため、片足で跳んだり、しゃがんだりするのが難しかったそうです。



けんけんたび(『大正走馬灯』より)

【竹馬】

二本の竹に足掛けとなる横木を付けたもので、横木に足を乗せて、バランスをとりながら前へ進みます。上手になると、横木の位置を上にずらして高くしたり、片足歩きをしたり、塀の上から乗ってみたりと、色んなことに挑戦したようです。今のようにはテレビゲームなどが無い時代は、子どもは多くの時間、外で遊び、おもちゃも木や竹などで手作りしたものが多くみられました。



竹馬(『大正走馬灯』より)

歴史課学芸員 上野 晶子